

< 実践事例 八丈町立三原小学校 >

1. 取組・活動名

「オリ・パラの日」

2. 取組・活動のねらい

- オリンピック種目について理解を深めるとともに、実際にトップアスリートからスポーツにかける思いや選手として続けていくことの難しさなどについて話を聞くことでスポーツに対する興味・関心を高める。
- 他国の文化を学ぶことで、より自国の文化の大切さに気付くことができるようにするとともに、身近にある伝統文化を学び、他国の方々に発信することで、自分の住んでいる島への愛情を育てる。
- オリンピック・パラリンピック参加国について学習する中で、様々な国の文化や言葉に触れる活動を行い、自国との違いや歴史的背景等を理解するとともに、これからの自国の在り方や自身の出来ること等、主体的に学習する力を育てる。

3. 教育課程上の教科名・時数

「総合的な学習の時間・10時間」「生活科及び学級活動・8時間」

4. 実施上の工夫

- ・オリンピック・パラリンピックの競技種目について調べ、パネルや冊子にしてまとめるようにし、活動内容の共通理解ができるようにした。
- ・地域人材を活用し、演技や演奏の指導をしていただいた。

5. 本取組・活動の内容



「スポーツ選手との交流」

- ・陸上競技の十種競技選手と100mハードルの選手を迎え、実技をしていただいたり、講話では、怪我を乗り越えて試合に臨んでいくことの大切さなどを話していただいたりした。

「他国との文化交流」

- ・ポルトガル共和国について調べたことをパネル展示するとともに、実際にポルトガル共和国の大使夫人をお招きしてポルトガルの文化や自然について講演していただいた。
- ・ベネズエラ・ボリバル共和国の音楽を演奏していただき、他国の音楽に触れることができた。
- ・八丈島の伝統芸能である「ショメ節」「八丈太鼓」を披露するとともに、児童自ら演技・演奏することで、郷土の文化についてさらに理解を深めることができた。



6. 成果

- ・実際にトップアスリートが運動する姿をみて、競技の素晴らしさに気付くことができた。また、選手を続けていくことの難しさ、自分の夢を叶えるためには努力が大切であることを学ぶことができた。
- ・他国の方々に、自分の住む島の伝統文化を披露し伝えることで、一人一人が地域の一員である自覚を養い、郷土に対する愛着や誇りを育てることができた。